

事例27：市販弁当内の糞様異物

品 名：スーパーの市販弁当

苦情概要：弁当の脇にネズミの糞のような黒色の塊が落ちていた。

検査方法：ホルマリン固定後、組織標本を作製し、HE 染色後顕微鏡で観察。

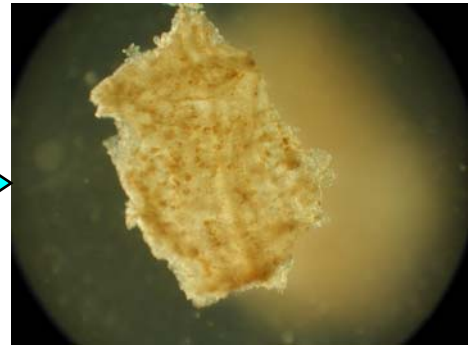
検体を水に浸し直接鏡検し、また同様の処理をしたハムスターの糞と比較した。

肉眼像

立体顕微鏡像

苦情品は乾燥していて硬かった

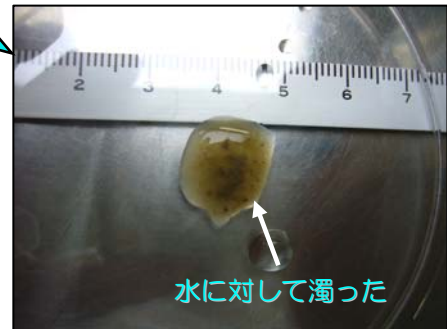
水に浸した後の立体顕微鏡像



＜水に浸した所＞



＜ハムスターの糞を水に浸した所＞

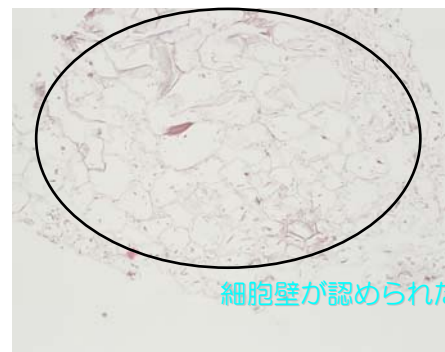


組織所見

維管束が認められた



HE 染色



検査結果：ハムスターの糞と性状が異なり、植物由来の組織が認められたことから、弁当に入っていた植物性食物であると思われます。苦情品弁当にはゴボウやニンジン、かぼちゃなどの野菜が使用されており、維管束が存在したことからゴボウの可能性が高いと考えられました。